

「2024年国立台湾大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学教育学部2年 椎葉 心晴

①学習成果

中国語に関しては、もちろんまだまだ伸びしろはあるものの、来る前より伸びたという実感があった。店頭での注文などといったネイティブの会話にはまだついていけないことが多いが、授業内での中国語はかなり聞き取れるようになったし、拙さはあるつつも自分の伝えたいことを伝えられるようになった。

また、中国語、英語の学習意欲が増した点も大きな成果と言える。今年の9月に、私のクラスを tutor として担当していた現地の学生さんが1年間の語学留学で関西に来るので、その時にクラスの日本人メンバーと一緒に集まろうと話している。そして、その時までにもっと中国語が話せるように各自勉強を頑張ろう、と皆で約束したことが、帰国後の言語学習においてもモチベーションになっている。

②海外での経験

初めての留学、そして初めての出国だったため、少し緊張した状態での渡航となったが、楽しむことができた。台湾の学生や他の国から来た留学生、現地の方々との交流を経験しつつも、クラスのメンバーには日本人が多く、現地の方々もとても友好的に接して下さるという点で、初海外経験としてはいい場所だったのではないと思う。

また、海外での経験そのものだけではなく、現地で出会った日本人学生との出会いも大きな刺激になった。3週間過ごす中で、将来の夢や大学生活、好きなことなど様々なことを話し、台湾に行かなかっただけであらう人との出会いをたくさん経験することができたと感じている。悔しかった点としては、私の英語、中国語が拙いばかりに、日本以外の国から来た人たちとはそこまで深い話ができなかったことだ。もっと多くの人と出会い、交流していくためにも、言語学習をこれからも継続していきたいと思った。

③プログラム内容

私のクラスは比較的人数が多いクラスではあったが（先生1人当たり10人程度）、グループワークや発問などで中国語を話す機会については十分に設けられていたのではないかと感じている。中国語を話す機会をできるだけ増やしたいと思っていたため、授業間の休憩の際にはできるだけ先生に質問をしに行くように心がけていた。途中でクラス変更をしている人も数名いたが、私のレベルに一番合っているクラスで3週間過ごすことができた。

④進路への影響について

長期留学については、正直迷ったのだが、2025年度から3回生になり、学部卒で就職をしたいと考えているため、現時点では考えていない。しかし、この留学が私の言語学習に大きな影響を及ぼしたことは実感しているし、結果的に今後の就職活動にも影響していくだろうと思っている。（最後の最後で曖昧になってしまって申し訳ないのですが、留学期間は就活のことを一切考えなかったため、この部分については今から考えていく予定です…。）